

会 議 録

会議の名称		第70回小金井市公立保育園運営協議会次第
事務局		子ども家庭部保育課
開催日時		令和5年7月8日(土) 午後3時30分～午後5時25分
開催場所		市役所第二庁舎801会議室
出席者	五園連	市岡 幸大 委員(くりのみ保育園) 大島 康宏 委員(わかたけ保育園) 石塚 保章 委員(わかたけ保育園) 柏木 紘子 委員(小金井保育園) 関田 紗友里 委員(小金井保育園) 大石 裕佳 委員(さくら保育園) 中岡 秀一 委員(さくら保育園) 中澤 超 委員(けやき保育園) 田畑 健 委員(けやき保育園)
	市	堤 直規 委員(子ども家庭部長) 中島 良浩 委員(子ども家庭部保育課長) 前島 美和 委員(くりのみ保育園園長) 杉山 久子 委員(わかたけ保育園園長) 小方 久美 委員(小金井保育園園長) 柴田 桂子 委員(さくら保育園園長) 池田 由美子 委員(けやき保育園園長)
欠席者	五園連	斎田 香菜 委員(くりのみ保育園)
傍聴の可否		○可 ・ 一部不可 ・ 不可
傍聴者数		4人
会議次第		1 開会 2 議事 (1) 前回会議録の確認 (2) アンケートについて ① 令和5年度アンケートについて L o G o フォーム版アンケートの内容確認 (3) その他 ① 前回以降の状況 →保護者説明会の実施状況 ② その他

発言内容・ 発言者名（主な 発言要旨）	別紙のとおり
会議結果	1 開会 2 議事 (1) 前回会議録の確認 (2) アンケートについて ① 令和5年度アンケートについて L o G o フォーム版アンケートの内容確認 (3) その他 ① 前回以降の状況 →保護者説明会の実施状況 ② その他
提出資料	(1) 資料271 令和4年度公立保育園の運営に関するアンケート（用紙） (2) 小金井市立保育園の今後の運営に係る保護者説明会配布資料
その他	なし

開 会

○堤委員長 それでは、ただいまから、小金井市公立保育園運営協議会の会議、第70回となりますが、始めさせていただきます。

 本日は、くりのみ保育園の斎田委員より、ご欠席の連絡をいただいています。

 また、オンラインでの参加のご連絡はいただけていないので、後ろにパソコンがありますけれども、今日は使わないということになります。

 では、議事に沿って進行させていただきます。

 まず一つ目は、前回会議録の確認ですが、特段の修正等の申出はありませんでしたので、校正依頼した内容をもって確定させていただきたいと思います。それでよろしいでしょうか。

 (異議なし)

○堤委員長 ありがとうございます。

 それでは、議事の(2)、アンケートについて昨年度の内容をそのままウェブのLOGOフォームに落とし込んだ内容について、事前に皆様のほうにはご案内させていただいていると思いますが、詳細について保育課長から説明させていただきます。

○中島委員 保育課長です。昨年度のアンケートの質問項目について、フォームに落とし込んだ形をこの会のご案内と一緒に事前にお送りをさせていただいております。昨年の質問項目をフォームに落とし込んで、実際、皆様のほうに事前に画面で見させていただいた上で、本日はこちらの会議上でその実施形態について、ご了解をいただけないかということで考えてございます。

 また、今後としましては、質問項目等の調整は別途これからはなりますが、まずはフォームを見ていただいた感触とかそういった形でご意見等があればいただければと思います。

○堤委員長 ありがとうございます。

 そうすると、まずはフォームをご覧になって気がついたこととか教えていただいて、その後、次回になりますけど、アンケート項目についてというふうに二段階に分けて話

していければと思います。まずはフォームをご覧になって気がついたところ、あるいはこの辺気になった、この辺が分からないとか含めてご意見をいただければと思います。

○大島委員長 実際には皆様使われたでしょうか。

○中島委員 保育課長です。捕捉としますと、質問項目が多いんですけども、同じブラウザ、パソコンのブラウザ上で途中で入力を一時保存的なものはできますので、また同じブラウザで開くと途中から再開できるような形にもなっております。質問がある程度数ありますので1分、2分で終わるものではないのは事実なんですけども、同じようなブラウザに入っていただければ使用感的には問題ないかなと事務局的には思っております。

以上、補足です。

○堤委員長 大島委員長、お願いします。

○大島委員長 大島です。使ってみまして、私、スマホからやったんですけど、全く問題なく回答できたかなと思います。設定等ありがとうございます。おおむね問題ないと思うところですよ。

以上です。

ほかの方、どうでしょうか、何か気づいたこととかあれば、なければ、いいんじゃないかなと思います。

○堤委員長 堤です。今、皆さんうなずかれたので、おおむね入力してみて、これでいけそうだというのは確認していただいたということよろしいですか。そうすると、紙ベースよりもイメージが分かりやすく、私どもも集計がしやすいですから、この方向で進めさせていただければと思います。

○中島委員 今、やり方についてご了解いただいたところでございますが、今後のそのアンケート自体の実施の流れにつきましては、例年、夏場にアンケートを実施して集計をしていく流れになります。事務局としましては、この7月中に質問項目、今、皆さんにプレでやっていただいたのは、昨年度の質問項目そのままなんですけども、基本的には調査結果の継続性というか、比較もありまして、大きくは質問項目は変えないというのは前回のお話の中でも出たところなんですけども、どうしても状況にそぐわないとか、そういったものがあつた場合の質問項目の修正については、この会議以降、メール等で各委員の方、あとは共同委員長との取りまとめというか、そういった形で7月中には項目を固めて、その固まった項目で事務局としてフォームの準備をする。フォームの準備をしまして、アンケートの実施については8月の時期に、一斉に保護者の方にフォームのご案内

をする、という流れをイメージしております。この流れについても何かご意見等がありましたら、よろしくお願いたします。

○堤委員長 堤です。今、保育課長から提案させていただいたとおり、この後、運協の会議ですけど、その後、メール等でご意見をいただいて、共同委員長のほうでその取りまとめを整理させていただいて、それを確認した上で8月実施という段取りでいいかと思うのですが、いかがですか。

○大島委員長 実は、今日この前に五園連がありまして。前回の五園連で持ち帰りにして、今日の五園連で各園、何か追加とか意見とか希望がありませんかという話をして、その場では特になかったんです。昨年度を踏襲でよくないかという意見で、まず五園連としては一旦整理がついたんです。

○堤委員長 ありがとうございます。

○大島委員長 運協委員の中でも実は確認をしまして、1点だけ、柏木委員のほうからありましたので。そこだけ先に伝えさせていただいて、他に追加がないかだけこの場で確認できたら、今日で保護者側としては決定で大丈夫です。

○堤委員長 行政側は特に変更はないと。そうすると、じゃあ、ここで柏木委員にご意見をちょっとお話させていただいて、それが協議できれば項目は決まるということになります。それでは柏木委員、お願いします。

○柏木委員 小金井保育園の柏木です。

質問項目の3の(1)の公立保育園の保育の状況についてというところの回答の仕方なんですけれども。それが今、「はい」「いいえ」「分からない」となっているんですけれども、ちょっと個人的な感覚として「分からない」という感じでもないんだけど、「はい」と断定するのもちょっと言いがたいなという感じる質問もあったので、これを段階的に何か「そう思う」「ややそう思う」「あまり思わない」「思わない」みたいな「あまり」とか「やや」とか、そういう曖昧な答え方ができる回答の仕方もあると、何かより本心に近い回答がしやすいかなと個人的に思いました。

例えば、(11)の建物の広さや設備、遊具は十分だと思いますかという質問に対して、多分、昨年も自分は「はい」と回答したんじゃないかなと思うんですけども。後者は十分満足していて、でも設備面は十分満足していると言えるのか、何かちょっと古い建物なので、ここも「はい」でいいのかなみたいに思う部分もあったときに、選択肢が「はい」と「いいえ」しかない、ちょっと答えが自分の本心とずれる部分もあるかなと思

ったので、そのように考えました。

今回、LOGOフォームでウェブ上統計もできるようになるので、その回答の選択肢を増やしてもあまり集計の手間がもし増えないようであれば、ご一考いただければ幸いかなと考えております。

私からは以上になります。

○中島委員 事務局的には問題はないんですけども、特に、やっぱりお答えいただく保護者の方の答え方、答えやすさですね、今ご発言あったような形で修正は可能かなと思います。ただ、そうなってくると、昨年度と同じ質問項目での比較衡量というか、そういった部分については難しくなる点だけはご了承いただければと。今、柏木委員のおっしゃられた部分のあと表現とかを、もし、この運協のほうでご協議いただいて、「思う」「そう思う」とか「やや」「分からない」その表現のところを決めていただければ事務局的には問題はないと思います。

○大島委員長 大島です。昨年度の経年比較というところがという話がありましたけど、経年比較ができないわけじゃない。昨年度は「はい」「いいえ」しかありませんでした。今年度は「はい」、「少しそう思う」か「やや」そういうようなので、それが分かる形で結果を示せばベターかなと思っています。そういう見せ方として、昨年度はもう質問項目が違うので昨年度との比較はありませんというのではなくて、昨年はこういう形のこういう結果ですという、並べ方をすれば見ている方は分かるかなと、傾向も含めてきちんとした意味のある結果になると思いますが。そういう形ができるかどうか。できればそういう形にはしてほしいなというところです。

○中島委員 比較衡量の資料というのを作るかというところは、なかなか今のところまだ決まっていなかなと思いますけれども、いずれにしても集約はできますので、あとはお答えのしやすさというところで、選択肢をどのように設定いただくか、ぜひこの場でお話いただいて決めていただければいいかなと。

○堤委員長 特に異論はないということでもよろしいですか、委員の皆さんは。比較するとしても「そう思う」と「ややそう思う」が去年の「はい」に匹敵しているとかという形に、よりそれを詳細に見えるようにしたという形になるわけです。一案としては、「そう思う」「ややそう思う」「あまりそうは思わない」「そうは思わない」「分からない」という5択という感じですよ。その5択では何か違う等のご意見があったらいただきたいんですけど。

- 中岡委員 中岡です。
「分からない」が真ん中ですか。5択で、どういう並びなんですか。
- 中島委員 今、「分からない」が一番選択肢の最後になっています。
- 中岡委員 どういう選択肢の並びになるのかとか。別のグーグルのフォームの中では五つのボタンが並んでいて、そこにグラデーションになっているので。今までの経年で分けて二つの「はい」「いいえ」が二つに分類するというのであれば、そっちのほうが分かりやすいです。
- 中島委員 そうですね。「分からない」が最後の選択肢になりますね。
- 中岡委員 それはもう分かりやすさをお考えいただいて。
- 堤委員長 発言してよろしいでしょうか。グラデーションという意味では、真ん中に「分からない」が入るんですね。
- 大島委員長 多分、真ん中つけたら「どちらでもない」が真ん中になる。
- 堤委員長 そう。前の「分からない」との比較というか、継続性を考えると、「分からない」が最後に来るんですねと、そういうことなんですけど。それで、ちょっと詳細にして、連続性を持たせるということで、その5択で特にご意見がなければ、そういう形でやってみるということですね。
- 中島委員 そこは、じゃあ修正を。
- 堤委員長 では、そういう構想で進めていきます。ご意見ありがとうございました。
- 柏木委員 いえ、ありがとうございました。
- 堤委員長 ほかのアンケートに関して、ご質問とかご意見ございましたら。
- 石塚委員 わかたけ石塚です。
今、ふと見て素朴に思ったんですけど。昨年度までは園ごとに集約していたんですね、これ。そうなったときに、このフォームでいった場合、各保護者がどの園なのかということ載せるようにしておかないと。つまりどの園の意見がどうということを最終的に集約できなくなって、これはどこの園なんだ、これはどこの園なんだというところがはっきりしないんじゃないかと思ったんですが。つまり五園が最初のプルダウンで押せるようにしておかないと。昨年度はちょっと私も最後3月傍聴で見たんですけども、形にならないんじゃないかと思ったんですが、いかがでしょうか。
- 中島委員 保育課長です。
そうすると、フォームの段階で最初に園を入れる選択肢を追加する修正でよろしいで

すか。分かりました。今、恐らく入っていなかったと思うので、そちらのほうについて選んでいただいて、在籍園を入れていただく形にもっていきたいと思っております。

○堤委員長 ありがとうございました。

ほかにご意見ご質問ありますでしょうか。

○大島委員長 大島です。内容ではなくて、スケジュールの話なんです。早く終わりそうなので、締切りをいつにしましょうか。という次の話ですね。余裕もってできるかなと思います。あまり長過ぎるのがいいわけではないので。そこはまた話を上げていただければと思います。

○中島委員 保育課長です。今、大島共同委員長からありましたけど、アンケートの実施期間とかで、どの程度の期間が望ましいか、もしご意見等があれば、今おっしゃっていただいて、フォームの準備は、今日のご意見のところの修正はかなり軽微なものなので、質問項目にほぼほぼ乖離がなければ、ご用意はかなり早く準備はできる。ただ、今週1週間でやってくださいとかだと、保護者の方には厳しいのであれば、スケジュールの部分のご意見が委員の方からあれば、ぜひこの場でいただいて、ある程度スケジュールの話など今日できればありがたいです。修正自体は、そんなに時間がかからないと思います。今日のお話ですと。

恐らくお願いするに当たって、スマホ等からのお答えがしやすいように、事務局からメール配信サービスを使ってご案内ができると思いますので、紙の節約という部分も非常にありますし、リンクをそのまま進んで行っていただければという部分があるので、こちらからのアナウンスもデータ配信だと早くなります。印刷して準備してというのがなくなりますから。ですので、まずはこの時期、お盆を避けてだと思いたしますが、ただ、一定程度時間がないと保護者の方もお答えする時間が必要だよと、そこそこのやはり文量がありますから、お答えをお待ちする、回答期間を何週間かもらったほうがいい、そういったようなご意見をいただけると。例年皆さんやっていたので、その感覚も含めて。

○堤委員長 堤です。そういう意味で、一応確認はさせていただいてから連絡をして始めるとして、再来週には準備に入るんですけど、その辺を私どもとしても園長先生とも確認するなどして考えていきたいと思うので、そういう意味でちょっとお時間いただいていますけども、できるだろうという調子です。その中で、切りのいい8月1日スタートみたいにするのか、もっと早めにスタートして、あとは回答期間を1週間だと短いのは間違いない

ものとして、2週間ぐらいがいいのか、3週間ぐらいがいいのか、それとも1か月か。1か月はちょっと多いんじゃないかなというところが、ちょっと今ご意見を伺いたいたいところなんですけど。

回答期間は2週間ぐらいですか、3週間ぐらいですか。

○大島委員長 1か月だと長いですね。

去年は2週間だったと思う。

○堤委員長 基本は2週間になるのかな。

○大島委員長 記憶が曖昧なんですけど、そのぐらいだったかな。

○堤委員長 どうでしょう、2週間ぐらいというところですかね。

あとは、最初をどうするか。7月中からでも始められるのですが、切りのいい8月1日に始めるのが良いのか。

○市岡委員 アンケートを答えた後に集計をして、多分、ホームページとかに結果を掲載していただいていると思うんですけど、ふだんこの何か質問等があった場合に回答をしっかりといただけるような感じなんですけども。その場合、この回答、アンケートの集計とか回答というのはいつ頃回答をいただけるような感じかというのが気になるのですが。

○中島委員 基本的には、そこでの質問というよりは、集計結果の公表みたいな形がまず最初になるので、そこでご質問というか、そこはご意見とかをいただいて。要はアンケートで、そこで質問とかになってしまうと、結果としてアンケートが終わらないという。

○堤委員長 基本は、アンケートは9月の運協で集計結果を協議すると。その中で結果の内容とか、自由記述の内容とかも確認して、これはどうなのかとかというふうな質疑が9月の会で行われる。一部10月の会に持ち越すかもしれないけど、まず9月にそこでご協議をして、ご質問があればそういうふうな議論をするという流れになっています。

○市岡委員 質問と回答、この集計結果は大体日程でいくと10月ぐらいには挙がるという。

○堤委員長 9月の運協のときには出せます。今日この後、日程調整ですけど、五園連の日に合わせてやるとすると、9月9日が候補になると思うんです。その前にお送りできると思いますね、資料として。明らかに誤植とかデータに変なものがなければ、フォームに入れたデータはすぐにまとまるわけなので。

○中島委員 なので9月の運協の日程にもよりますし、質問回答期間を8月いっぱい設定すると、ちょっと集計のところは9月の中旬の会議に間に合わないかもしれないとか、その辺がスケジュールが幾つか関係してくるかなと思うんです。なので、まずはアンケート自体

をどの時期に取るかというところがあって、それをアンケートを取った後、集計をして、この運協のほかに速報という形でお返りするタイミングがいつになるのかというのを、この今日の協議で確認ができればというような。

○石塚委員　　わかたけの石塚です。イメージとして、私たちもいろいろ夏のスケジュールもあると思うので、お盆は避けたいと思うんです。多分、役所側も閉庁するでしょうし。けれどお盆の前の例えば2週間なら2週間とか、そこを明けた後の2週間とか、だからどっちかなのかと、個人的には思っていたんです。やっぱり、私たちも仕事があったりするので、週末2週間分ぐらいあると、そこで少しゆとりを持って打ち込みもできる。平日は私たちも忙しいし。それを幾らフォーム化したとは言え、記述欄に打ち込むのは大変だと思うので、週末が2回ぐらいあると楽かなと思いました。

○堤委員長　　それで、例えば8月1日から12日までどうかなと思ったんです。その上でお盆の考え方によります。小金井でいうとお盆は8月の1日なんですけども、さらに今年は10日前後が真ん中になるので、8月1日から8月15日ぐらいとさせていただければ周知含めてできるし、8月下旬が空くので、そこで整理したものを9月9日の運協の候補日前に送付できると思ったんです。考え方によっては8月15日まで、まさにお盆にかかるので、その1週間前のほうがいいかな、1週間後のほうがいいかなということで、ご意見をいただけると、大体のスケジュールが見えるかなと思ったんですけれど。

○田畑委員　　けやきの田畑です。質問なんですけど。

市側が集計するに当たって、どれ位の期間が例えば、その自由回答欄とかがあると思うんですけど、その内容の確認に時間がかかるようであれば、お盆前に終わらせた方がいいと思います。そこら辺の必要時間というか、9月の頭に間に合わせるような形で、どれくらいの期間があればいいかかというのは違うのではないかなと。

○中島委員　　保育課長です。フォームで実施するのが初になります。今までは紙ベースで手書きのものを、まず打ち込むという作業を市のほうでやっていたので、その部分の時間の短縮はできるかとは思っていますが。あとはフォームで挙がってきた部分をどう集約して速報で見せるかは、ちょっと今回初めてなので、ちょっと余力をいただけるとありがたいかなと思っています。2週間ほどちょっといただければ、見せる体裁とかについては検討ができるのかなと思います。

○田畑委員　　ありがとうございます。

○中島委員　　なので、先ほど子ども家庭部長のほうから申し上げたような8月の中旬当たりのどこ

かで締め切っていただくという形であれば、9月の次回の運協にお示しする流れができるかなと思っております。

○堤委員長 堤です。

15日が20日になったとしても、営業日としてみれば9月9日の1週間前の金曜日には資料をお送りするとして、9月1日は金曜日なんですが、その前に3週間分の作業期間を持っているということになるので、少しこちらの夏休みとかもありますけど、それでも余裕をもって作業ができると思ったんです。ですので、そういう意味で僕のたたきとしては1日からいいましたけれど、それを20日ぐらいまで前後すれば、どちらでも対応はできます。

○田畑委員 けやきの田畑です。

多分なんですけど、メールで配信されて、すぐにやる人と締切ぎりぎりにやる人で二手に分かれるかなと個人的には思って。そう思うと、始まるタイミングを例えば7月28日金曜日で、最初の土日でやってもらうというのと、終わりを13日とか、最後の休みでやってもらう感じかなという。何か最初の始まるタイミングですぐお休みになった方が回答をしてくれる率が割と高いと思うので。

○堤委員長 今、田畑委員がおっしゃったのは、そうすると7月28日にスタートして、8月13日締切りとかにすれば、すぐ土日が入って、土日も3回あるから回答率も上がっていいんじゃないかということですね。

特にご意見ありますか。大体、そのほうが入力しやすいかなと思われるならば、そういうところなのかなと思います。

そうしたら、整理させていただくと、7月28日にスタートができて、13日に終了するために、その前段で回答項目の確認をさせていただきます。9月9日の運協の一週間前の9月1日までには事前に資料送付したいところですが、それに間に合わせるように作業を進めたいと思います。そういうことでよろしくお願いします。ありがとうございます。

○田畑委員 追加で。けやきの田畑です。2個お願いしたいのは。もし可能だったら8月10日ぐらいの締切り前に再送することって可能ですか。

○堤委員長 リマインド。

○田畑委員 リマインド、はい。

○中島委員 保育課長です。それは、できます。ただ、再送することによって複数回答が防げなく

なります。なので、再送するデメリットとしては、分からなくなりもう一度回答すると
なると、分母の保護者の数を越えた回答数が出てしまうと、調査自体の信頼性が下がっ
てしまわないかなというのは、ちょっと懸念されます。再送はできなくはないですね。
お知らせでリマインドできます。ただ、ご本人が分からなくなって、何回も回答してし
まったときに、例えばですけど、けやき保育園の保護者の数よりけやき保育園の回答が
多くなってきたりすると、この調査自体のちょっと信頼度が怪しくなってしまうかなと
思っています。

○田畑委員 分かりました。

○中島委員 リマインドはできます。なので、そこについてはちょっとお答えいただく保護者の方
にご注意いただくしか、ちょっと防ぎようがない。

○田畑委員 学童でやったんですけれど、学童もLOGOフォームで昨年あったのが、一つの家庭
でお父様、お母様2人で回答して数がおかしくなったんですが、それは防ぎようがない
ということですか。

○中島委員 そうですね。フォーム上でどうしても、今、個人情報を受ける形は考えていないので、
特定ができない以上防ぎようがありません。

○田畑委員 はい、分かりました。ありがとうございます。

○中島委員 なので、性善説に立って、やっていくしかない。

○大島委員長 先ほど田畑委員からお話のあった、お父さん、お母さんの二重に入れちゃうというの
があるかもしれないですけど、それに関しては、アンケートを書くときに各ご家庭で、
1家庭で1回と決まりにして書いてもらうというのがひとつ。あとは、一般論恐らく各
園の父母会のほうからも周知すると思うんで、そのときにそういう形で、忘れていた
方のリマインドを行うとのはどうかなと思うんですが。

○中島委員 保育課長です。フォームの中で注意事項を前もって、今、大島共同委員長に言ってい
ただいたような一家庭で一回答でお願いしますというような注意事項を入れることはで
きますので、そこもフォーム上で表記します。

○堤委員長 確認なんですけども、一世帯一人は注意書きを書くことで周知すると。リマインドの
ほうは、今、話の流れ的には行政側としては最初に1回やって、あとは父母会のほうで
ちょっと注意を促していきたいというようなご意見もあったように見受けられたん
ですけど、どちらの方法でやりましょうか。今日決められたらと思うのですが。

○田畑委員 保護者で。

- 堤委員長 田畑委員ありがとうございます。では、そういうちょっと協力関係でやらせていただくことにしましょうか。お願いいたします。
- 大島委員長 大島です。結果については、9月とか運協があります、そこで結果を示していただく、アンケート集計結果として出していただくという形。その後については、運協ではまずそこで出たものに対して意見交換して、私たちは一旦持ち帰って、五園連で議論協議して、そこで質問とかいろいろ書いてくれたことについても、後で私たちからここで市側の意見を聞きたいので、やっぱり質問回答をもうらいたいというのを改めて運協の場で聞くという形で。もしもほかに対市懇あれば、その形で進められるのがいつもの流れかなと思っています。イメージとしては、まず9月9日で、結果として集計結果を出してもらったものを一旦持ち帰る、という流れだと思うんですけど。
- 堤委員長 おっしゃるとおりの流れだと思います。9月に説明して協議をして、そこで一定の議論になるとは思いますけど、再度持ち帰って五園連のほうでご意見を出していただいて、そこは次回の10月のほうで話し合いとかというふうになるとは思います。
- 市岡委員 くりのみの市岡です。もし、ウェブ上で回答できないよという方に対しては、ペーパーになるのかなと思うんですけど、そういう場合というのは問合せ先とかというのは、どういう形で対応すればいいかちょっと教えていただきたいんですが。
- 中島委員 保育課長です。今、現時点で想定はしていませんけれども、保育課のほうで、今、参考資料でお配りしているような紙のアンケートをお渡しするしかないかなと思っています。ただ、どの程度そういう方が増えるかによって集計作業の時間に影響が出るのと、その提出については、締切自体はフォームの締切と合わせていただく形。ただ、お申出が、いつどのような形でそれが来るか、今、ルートが決まっていないというか。なので、アナログでも答えたいというやり方を受けられる形を作る場合は、そのアナログで受けたいという申出方法を決めないと進まないかなと思います。それをよしとするのであれば、アナログで答えたいという申出を結局受けなきゃいけないんですけど、それをどう申し出ればいいのかという形を周知をしないと始まらなくなるので。私の感触だと、完全フォーム移行を前提としてお話を進めていたつもりなので、今の部分でどうしてもという場合は紙で対応するしかないですし、印刷してご用意するしかないんですけど、それを承るルートを最初から提示をしていくかというのは、ちょっとまだご協議いただけないものかなと思います。
- 市岡委員 メールシステムに登録していない方っているのですか。

○中島委員 基本は全家庭登録されています。

○大島委員長 多分、見はするんじゃないんですか。見はすると思うので、あとはそれで答えるか答えないかなので。何かしらウェブ上で見られる媒体は持っているはずなので。

○堤委員長 基本的にはあまり積極的なアナウンスはしなくてもいいのかなと思うんですけど、想定されるのは、見ることはできるけれども、例えば手が不自由とかで入力できない方が万一いらっしゃるかどうかというところもあると思います。恐縮ですけど、基本的には回答のしやすさ、集約のスピード化という意味では、できるだけウェブに移行したいので、単に紙で答えたいという方はぜひウェブでだと思えます。だから、まさにオンラインで手段的に回答ができないような方が万が一いらっしゃった場合にどうするかというのが問題と考えております。

その問題は、アナウンスするのか、それはやはり声が挙がるだろうから、それに対応すればいいのかという対応の仕方だと思います。アナウンスをするのであれば、もし事情があってオンラインでの回答が困難な方はご相談くださいという、保育課までご相談くださいみたいなのを書くし、それは何らかの相談があるだろう。保護者会の相談含めて、という意味であれば、アナウンスはしないけども、そこで対応する。可能なら、それで郵送すると、郵送のやり取りとかになるかと思うので。印刷ができるかとかもあるので、例えばちょっと早めなんですけれども、8月1日とか2日の早めのところからご連絡いただきたいという時間設定を裏側では設けることになると思うんです。アナウンス、どうしたほうがいいですかね。

○中島委員 難しいですね。

○大島委員長 わかたけ大島です。

ないと思うんですけど、入れ方が分かりませんか、見てやったんですけど、私ちょっとパソコン苦手でちょっと分かんないんですよみたいなのがいないこともないと思いますよ。なので、ご不明な点がありましたら、こちらまでご連絡くださいの一言あれば全てすぐえるかなと、十分な気はします。

○堤委員長 それが一番無難で本当のところですよ。それ以外の問合せもそうですし。

○石塚委員 わかたけ石塚です。

ただ、さっき五園連でちょっと話題になったのが、外国籍の方が在籍されていて、その方たちはどうしていますかというのが、さくらさんから上がってきて。だから、こういうアンケートについても同様なのかなと。別にウェブに対応できる、できないじゃな

くて、対応に苦しむと言われている中で、いろんな方、保護者の方も含めていると思うので、問合せの仕方。問合せ先だけ分かっていたら、アンケート答えられるかどうかも分からないですけども、やっぱり受け入れる体制はあったほうがいいのかなど感じました。

○堤委員長 では、問合せ先を一括して書いておくということで。多言語というだけならば、日本語だけで思い切っても翻訳は使いやすいというのはオンラインのほうが良いと思うんですよ。

では、そういう形で対応をしていくということで。ありがとうございます。

ほかにアンケートの件でご質問等、ご意見はありませんでしょうか。

(なし)

○堤委員長 ちょっと整理しますけれども、設問については5段階で聞いてみるというのが一つ。あともう一つは、基本属性としてどの園に在籍しているかという項目を追加すると、この2点だけだと思いますので、それについてあらためて確認していただきます。

日程としては、7月28日から8月13日までという形で進めて、9月9日が次回運協であればその1週間前になりますけど、その1週間前に事前送付と、問合せ先として保育課のほうがということで進めさせていただきたいと思います。

そうしたら、次の議題のほうに入らせていただきます。

その他ということになりますけども、前回以降の状況としては、参考資料でお配りしていますが、保護者説明会の実施状況についてがでございます。

保育課長から説明をお願いします。

○中島委員 さくらとくりのみにて、保護者の方向けの説明会を6月25日、7月1日、7月2日で開催をいたしました。各園でそれぞれ2回ずつでございます。こちらについては、参加者はその4回で64名の方にご参加をいただいたところであります。

時間としましては、当初1時間半の想定のところ、一番長くて2時間半ぐらい、1時間ぐらい延びた会もございました。こちらのほうは、議事録についてですが、会議の音声の録音をしました。こちら、当初想定していなかった部分になりますので、ちょっと議事録を外注する予算を手配しまして、なるべく早く、今月中にできれば議事録のほうを固めたいと思っております。今後、ホームページ等でその議事録は発言された個人の方が分からないような形で配慮した形に体裁を整えて公表をしていく形となっております。

お手元に、その説明会の中で配布している資料については本日の参考資料の形でご用意しておりますが。こちらについてもホームページ等で公開をするものとしてございます。

私のほうからは、以上となります。

○堤委員長 堤です。補足なんですけども、当日出た質疑の中では、園児と園の先生方が減っていく中で、行事とかどうなっていくのが具体的にこれでは分からない。今日の資料にあると思うんですが、私のほうからは、今、保育園の先生も入っていただいて、こういう項目について検討しているという説明をしましたが、その辺をもっとしっかり説明してほしいというのをいただいています。

あともう一つは、今回、事前にも寄せられていましたが、質問し切れなかった部分をどうするのか、今回で終わりなのかということについては、市長のほうからも少なくとも半年のうち、定期的にはやる必要はあるのではないかという話がありました。逆に言うと、来月とかにするとしても、私たちお答えできることは限られるので、一定の間隔は空けつつ来年の春とかまで、その間に必要であろうという認識ですので、その辺の日程の調整とかをご相談させていただきたいと思います。

また、ちょっとご相談になりまして、参加できない方が増えて質問とか意見とかあったらどうするのかです、ルートとしては園・保育課に市長へのEメールで、それから保護者会に、五園連に、そしてこの運協でというのがあると思いますけれども、できるだけ集約という意味ではご協力いただけたる範囲ということにはなるとは思いますけれども、保護者会の中で集約いただいて、運協とかの中で取り扱っていければ共有もできていいのかなと思ったので、その辺のご相談もさせていただきたいと思っています。

以上です。

それでは、説明は以上のとおり、また資料も今ご覧になっているところだと思いますけれども、ご質問とかがいただければと思います。

大島委員長。

○大島委員長 わかたけの大島です。

まず説明会に参加されたのが、くりのみ、さくら保育園の方だけです。ほかの園の方が参加していないところで、まず全体の流れ的なことは、参照資料で書いていただいているんですけど、ちょっとこれの質問という形で、その流れのどういう形で行われたのかご質問させていただきたいと思います。

まず、開会、市長の挨拶で、小金井市立保育園の今後の運営についてというのを、このパワーポイントがついている資料1と資料2をざっくりと説明した。

○中島委員 保育課長です。参考資料をおつけしました説明会の資料の次第のほうです。市長挨拶のところ、市長の挨拶とともに、1枚おめくりいただいた、これまでの経過という資料1、こちらのほうは市長挨拶で、市長の言葉として保護者の方にお伝えするときに使用したパワーポイントになります。これまでの経過という。

その次、小金井市立保育園の今後の運営についてというところで、子ども家庭部長のほうから資料2と新たな保育業務の総合的な見直し方法の資料3、これに基づく説明として次第の3の小金井市立保育園の今後の運営についてということで、説明をさせていただきました。

あと、資料4、くりのみ保育園とさくら保育園でご用意している資料、そちらに基づいて説明会の次第の4、保育園職員からの説明という形でご説明しております。

流れとしましては、この市長の挨拶、市長の保護者の方へのお話、子ども家庭部長からの説明、園職員からの説明という順番で説明をさせていただいております。

まとめて、質疑応答については、その会の後半に次第の5として時間を設けてやっております。

流れとしましては、以上です。

○大島委員長 ありがとうございます。

ご質問とか、ご意見あったら。

○市岡委員 くりのみの市岡です。

ちょっとくりのみの説明会で話があった、次回以降の説明会の日程なんですけども。ちょっとまだ説明会のときには具体的にはなかったんですけど、9月ぐらいにはやってほしいという意見が保護者からあったんですけど。その理由として話があったのが、ちょうど来年の4月の入園の手続きというのが10月ぐらいから始まるというところもあって、転園を考えている保護者だったりとか、そういうところの判断をしたいということに関しても、その10月の前に説明会等開いていただいて、今回ちょっと回答いただけなかった部分について、まず状況を聞きたいということがありましたので。その辺を考慮していただいて、次回の日程というのも詰めていただければというふうには出てましたので、その辺のところも考慮していただけるといいかなと考えています。

○堤委員長 堤です。時期のほうは、恐縮なんですけれども、9月はなかなか議会中で市長の予定

を押さえるのに難しいかなと。あと、夏の時期を越えていくと検討状況としてもあんまり進んでいないかなと思っています。率直なところを申し上げますと11月が一つのめどかなと思っています。そういう意味では、まだ決定ではなくて、この前の園長会でも、園長先生方に園のスケジュールがどうなっているのかというふうには、候補日をちょっと洗い出していただきたいというのと、私ども事務方としても市長の予定を把握したいという状態なので、まだ11月かなというところで、何日か候補日は、今、当たり始めてまだ固まっていないというような状態です。

そうすると、今おっしゃった、当日さくら保育園から若干ご質問いただきましたけど、転園の話があってというところがあるんです。それについては、担当課長からお話しさせていただきます。

○中島委員 保育課長です。転園のほうの指数に関する質問が、さくら保育園で出ていました。そちらを踏まえて、入所の際の指数、そちらについては検討をするんですけども、いずれにしてもそちらの検討を踏まえて、その指数というルールを定めたやつを公表する、今、スケジュールとしては10月の入所案内にお載せして、10月の頭に配布の開始を考えているのがスケジュールとなっております。

ですので、9月にというところなんですけど、入所案内で指数を検討して、入所の案内として公表する、ほかにも在籍児童の方だけではなくて、新規の保育園のところも考えられる方も含めて、一斉にお知らせするタイミングとしては、今10月の頭を考えているのがスケジュールとなりますので、9月の段階で転園についての内容をご説明するのは、タイミングとしては難しいのが、今のスケジュール上のお答えになります。

○市岡委員 市岡です。ちょっと自分もよく分かっていなくて申し訳ないんですけど、10月の頭に出てくる指数というのは、具体的にどういうデータ、どういう情報が出てきますか。

○中島委員 保育課長です。規則に基づいて入所の指数というのを定めますので、規則改正をした形の指数の表のという形で、入所案内上は掲載しています。なので、例えば就労のお時間ごとに、何時間以上だと就労、指数100とかですね、加点がどうのとか、育休中の方にはこの加点など、就労以外の指数ですね。それとあと一式ですね、保育のほうの入所に関して点数化しますが、その指数の表自体を毎年、申請状況とか要望とかを含めて見直しをかけていますので、そちらのほうを毎年の入所案内にお載せしております。

○市岡委員 分かりました。じゃあその見直しはこれからやっていただいて、去年から0歳児が行けなくなって、さくらとくりのみは、その減点がないというのと、そのほかにも変わる

可能性はあるということですか。

○中島委員 今、くりのみとさくらの要件以外のものは、申請の状況とか、お客様の申請の状況、お客様自体の状況が今、申請数が減ったりしています。その中で、お客様の申請の属性自体を考慮して、加点の幅を見直すべきではないかとか、保育課のほうにも幾つかご意見のほうを指数についてはご要望をいただいておりますので、それを総括的に見直しをかけたいく等の検討この夏にしていきたいと考えています。

○市岡委員 分かりました。もう1点、すみません、市岡です。そうするとやっぱり10月に入所の案内が出て、4月入所の申込期限というのは例年どおりな感じですか。

○事務局 保育係長の清水です。

昨年度でございますが、10月の17から11月の8日まで、一次として募集受付させていただいております。この後、不足書類という部分で、書類が不足していた方だけは22日までに書類の提出を促すという期限を設けておりましたので、基本的には例年こういったような、この近辺の日程という形になるので、この辺りで実施していくものということで検討しています。

○堤委員長 堤です。今の話だけだと、11月のやはり初旬に締切りが終わり、11月のどの時期か、または11月にやっても、締切り間際の説明会になる可能性があります。転園に関して心配があって、それがどう変わるのかを踏まえて判断したいなという趣旨だったと思っていますので、その中で、説明会の時期はそれに間に合うように、10月と今、言えないわけなんですけど、この転園に関してのご不安とか疑問については、どういう対応ができるかというのは考えたいと思います。

○中島委員 保育課長です。その他の入所の申請については、昔は窓口で一斉に受けていたんですけども、コロナ以降、なるだけ窓口の来所をしなくて済むようにという形で、郵便での提出といった形で簡素化をしております。

ですので、逆に言うと、窓口でのご相談のを対応のお時間を取りやすくもなっておりますので、特にくりのみ保育園、さくら保育園の転園のところでお悩みの方へのご相談については、保育課のほうに相談という形で丁寧に対応できるかと思っておりますので、いずれにしてもそういった形のご要望、ご相談等があれば、保育課のほうで承らせていただきます。

○堤委員長 ほかにまた関連してというのものもあるかもしれないですけど、ご質問とかご意見があればいただきたいと思います。

○大島委員長　大島からですが、市岡委員からお話がありましたが、さくら保育園、くりのみ保育園の保護者の方で、その説明会に出て感じたというか、またはこの場で伝えたいことがあったら。私たちは出ていないこともありまして、結局、資料としては見るのですが、その説明会というのを実際に体験した方のご意見ということは尊重したいなと思っ
まして、いかがでしょうか。

はい、お願いします。

○大石委員　さくらの大石です。ちょっと予定が合わなくて、出られてなくて、次回は行きたいなと思っ
ています。すみません、何も言えなくて申し訳ありません。

○大島委員長　市岡委員はいかがですか、そういう関連で。

○市岡委員　そうですね。一応、先ほどのところは、確認したかったというところはありますし、ちょっとこれインプットという形になっちゃうかもしれないんですが、質問で多かったりとか、回答いただけなかったという部分については、結局、廃園をすることによって、コスト的に浮いてくるところがあるんだけど、その予算をどう使っているのかとか、その辺の試算というのがちょっと本当に合っているのかということも疑問点というか、市長のほうからもそこはもう少しもう一回検討したいという話はあったりしたので、その辺はやっぱり廃園するにしても、今の条例でも進んではしまっ
てはいるんですけど、そうなった場合、そこで増えた場合はどういうふうに使われるのかとか、そういう話というのも質問としてはかなり出ていましたので。

そういうところは、結局、廃園になるのであれば、多分そこをしっかりと明確になっていけば、ある程度納得して、受け入れてくれる人が増えてくるかなと思うので、その辺をしっかりと市として回答していただきたいなというところは自分も感じます。

○大島委員長　ありがとうございます。今のお話を聞いてなのですけど、廃園する理由がやっぱり納得できていないところが占めているのかなというところで見えてまして、廃園する理由の一つは、納得できるところもあればできないところもある。ただ、できないところは大きく、まだその回答は得られていないというところで、保護者の納得感がないんじゃないかな。そういう印象を受けましたが、そういうふう
にイメージ。

○市岡委員　そうですね、はい。私も直接は出ていないんですけど、一つは妻が出ていたところで、ちょっと聞いた意見だったりとか、役員会のほうから意見があるんですけど、そういう質問がやっぱり多かったというところを紹介しておりますし、私も内容を見ている、もうその辺はやっぱりあまり回答をもらえないような印象もありました。

○堤委員長 堤です。よろしいですか。特にくりのみ保育園の方ですが、大きく三つぐらいその納得感のレベルがあるとして、まず、その廃園にそもそも納得がいけないから、市長も諦めないでほしいというのはありました。その次が今、出たご意見だと思います。その財政効果の部分を含めて、また跡地をどういうふうを活用するかというのを含めて、それが必要かが分からないということですね。3番目は、特に僕がくりのみ保育園でいただいた質問というか意見なんですけども、仮に全体でやらなきゃいけないんだとしても、自分たちの子どもが括弧つきで犠牲になって、それが実現する。だから、そういう中で、どういうことをしてくれるのかというのが見えない。園の先生からは、例えば少人数だからできることとか、そういうことを考えていきたいんだという意見が出たわけなんですけども、それを例えば、事務方を含めてきちんとご説明できるようにしないとイケないのかなと思っています。その辺、ご指摘、お叱り、確かにという部分もありますので、その辺は、真摯にキャッチボールをさせていただきたい。

どうしてもいきなり100点のお答えができるとは限らないんですけども、そのご指摘をいただく中で納得感があるものとか、よりよいものにはしていきたいというお話をさしあげているので、そういった形で次回につなげて行きたいというふうに思っています。

○大島委員長 この話が、参加された方のお話をきっかけとして今、進められています、保護者のほうから一言言いますと、対市懇談会というのを8月に予定しています。対市懇談会には、また市長に来ていただいて、五園連と話をする場という形で、準備を進めています。この対市懇談会自体に、くのみさん、さくらさんの説明会の結果を受けて五園連で共有していく、その上で対市懇談会という位置づけで考えていますので、ちょっとまだ五園連側の準備については、そこで出た質問、答えられてないというところが、もう一回、場合によってはまた再質問させていただいたり、また意見とか集約ができていたら、そこは五園連として伝えてという形で、別途、さきほど説明会があるというところがありまして、その前に一旦、対市懇談会という形で、五園連全体と市長を含めた対話の場という形で考えていまして、そういう流れで進めたいと思っています。

それで、資料を読んでいて、これは園長先生のほうからご説明いただければいいかなと思ったんですけど、最後の4の中に、その他の中で、園庭の利用についての話が入っていたんです。園庭の中では、様々な年齢の子どもたちの交流の場として近隣保育園、市内の子どもたちへの開放というのが書いてありまして、この辺をもうちょっと詳しく

お聞きしたいなというところで、よろしければお話しいただいてもよろしいでしょうか。

○前島委員　　くりのみ保育園の前島です。くりのみ保育園の資料のその他に書かれていますが、園庭開放、コロナの時期に一旦お休みをされていて、再開はしているのですが、コロナになる前は、ほかの保育園のお子さんたちが遊びに来ていただいていたので、今は地域の方は来ていますが。保育園の方々には、まだ声がかけていないので、園庭のない保育園たくさんあると思うので、そういう方々にもご利用いただけたらなというのは、園の想いです。まだいろんな案を出し合って検討している中なので、在園のお子さんたちの様子も含めて、今後どういうふうに取り組むことが、いろんな案がある中で、決定というところにはまだ至っていません。

○大島委員長　　ありがとうございます。そうすると、近隣の保育園と連携して行って、時間を決めて、来ていいですよとなったり、あと開放というのは、もう誰もが対象と、子どもたちを連れて入って入れて、特定の子どもの向けの開放ともうみんなに開放するという二つのパターンを用意している、そんなイメージでいいですか。

○前島委員　　イメージはそれぞれが今、意見を出し合って。前島です、すみません。なので、他園の小さいお子さんとか大きいお子さんとかで、小さい子は遊んでもらったり、そういうところも含めて話し合っています。

あと、就学された卒園児のお子さんたちから、保育園に行きたいなというご意見をいただくので、平日は学校に行って、その後、学童に行きますが、保育園に来れる日というのがあると良いねという話しが出ています。これは、まだ案の段階なので、全然決定とかではなく、いろんな案が出ている中で、まだ園全体でこういう意見でまとまっていなくて、たくさんの意見が園から上がってきたり、卒園された方からもご意見をいただいたりするので、そこも含めて考えているところです。

○堤委員長　　子どもたちのために話し合いを園で先生方が重ねている、そういう説明だったんですね。その中で今、いろんな対応案というのを先生方が考えている、それはもうやることが決まったということではなくて、今、そういった話し合いを重ねていっている途中の話です。

○大島委員長　　やるとなったときは、5園そろえてやるとかではなくて、これは、くりのみであればくりのみさんのほうでまずやっていくという、そういう個別的な話になるのでしょうか。

○中島委員　　保育課長です。段階的縮小・廃園での取組というのは、各保育園のお子さんの受入状況も違いますから、今、前島園長からお話があったのは、あくまでくりのみの中での検討で、5園全体で合わせていくというのは、例えば方針の中での保育サービスの拡充と

かで、各保育園の役割で決められたものはありますけど、段階的縮小で、空き部屋の活用であったり、園庭の活用とかというのは、各保育園の中で、そのお子さんの状況を踏まえて考えていただいております。それを必ずほかの園と合わせてというのは、現在はそういう考えはないです。むしろそういうのではなくて、それぞれの園のお子さんの受入状況とか、体制に合わせて、それぞれの園の中で、最適な考え方、保育士の中での検討とかでやっていただくのを現状は基本としています。ですので、横一列とかというのは、大きくは今のところは考えていない状況です。

○大島委員長 はい。では、最初にいただいておりますので。

○石塚委員 わかたけの石塚です。つまり今の保育課長が話された話というのは、資料の11ページにあるような、例えば市内保育園とか近隣小学校との交流というのも含めて、その園によって違うという考え方でいいですか。それによっては、わかたけであったり、小金井であったり、それはまた別は別で、くりのみとさくらは、まずそうやっていくことを考えているということよろしいでしょうか。

○中島委員 保育課長です。今おっしゃっていただいたとおりで、くりのみとさくらについては、受入児童数が減少していきますから、その時点で、ほかの3園とも特徴が変わってきますので、そちらの内容については、園ごとに特色が出てくるものと思っております。

小学校との連携についても、各小学校の教育課程とか、それぞれやはり特色がありますから、全部の小学校が全く同じことをやっているわけではございませんので、小学校との連携のやり方についても、各近隣の小学校の特色も踏まえて変わってくるもの、一律にはなっていないというのは現状でございます。

○石塚委員 ありがとうございます。

○堤委員長 ご意見とかありますか。

○大島委員長 大島です。参考でつけていただいた資料に関しては、運協の正式資料には載らないものですね。

○中島委員 そうですね。保育課長です。あくまで運協用の資料として作ったものではないので、資料番号を振っておりません。また、説明会で別途ホームページで議事録を含め、全て公開をする形にはしていますので、あくまで運協用の資料として資料番号をつけていないという扱いだということをご理解いただければと思います。

資料自体は、もうホームページで公開を始めさせていただいております。議事録は追いついていませんけれども。

○堤委員長 というわけで、資料はもう公表、公開させていただきましたので、どなたでも見られます。それにまた議事録が追加される。で、運協のために作成されたという資料ではないので、参考資料とさせていただきますということです。

ほかにはよろしいでしょうか。

それでは、次のほうへ入らせていただきます。その他の②のほうとしては、まずお話ししたいのは、次回、9月9日土曜日というように申し上げましたけれども、五園連の開催日に合わせた実施という形の方向でよろしいですか。そうだとすると、次回が9月9日、次々回が11月の18日で、年明けた1月が20日、そして年度内、最後の3月が16日というふうになります。特別な事情があって変更することはあるんですが、基本的にはこの日程で会場も押さえてというふうに予定してよろしいでしょうか、という方向性と日にちについてのご相談です。

9月の9日、11月の18日、1月の20日、3月の16日です。

○中島委員 今年の五園連の日程、前回、この日程で伺っているんですけど、間違いはないですか。

○大島委員長 予定では聞いているところで、変更がなければ。

○堤委員長 では、おおむねこの日程ということにして、もし五園連のほうを含めて、変更が必要のときは、ご相談いただくということにしたいと思います。

その他という中で、保護者側の方、五園連側のほうから、議題とか意見があればいただきたいと思います。

○大島委員長 ないでしょうか。なければ私のほうから、まとめてみますが。

○堤委員長 はい。じゃあ大島委員長、お願いいたします。

○大島委員長 はい。わかたけ、大島です。前回の続きというところで、経過状況をお聞かせください。まず、保育士の採用について、新規採用をしているというところで、この新規採用の状況をお知らせくださいというのが1点です。

2点目が、コスモズの経過ですね。こちらも前回からの何か経過があればお知らせください。

○中島委員 保育課長です。保育士の採用状況については、非常に残念なんですけど、なかなか欠員の解消には至っていません。この7月に一般任期の保育士として1人採用がありますが、正規職員の採用人数では、応募がなかったという結果が続いておりますので、欠員の状況に変更はない形。

一般任期は、お一人7月から勤務を開始しております。配置先はけやき保育園となっ

ています。

採用については以上になります。

○堤委員長　　コスモズについては、まず5月15日付で1件、回答みたいなのがあったんですけど、その内容ではよく分からなかったんですね。それで、5月18日に来庁して説明があったのですが、その説明でも分からないので、子ども家庭部長名で文書を出しています、その説明を。それについての回答が一旦あったんですけども、それもよく分からないものでした。例えば十八コスモズについて、第三者委員会の報告で不正があったとされていたんですけど、それについて不正はなかったというようなことが書かれているんですが、その辺についてしっかり説明とか証拠になるものを見せていただきたいということがあります。

その説明を求めているんですが、催促の文をというか、6月26日付でまた子ども家庭部長名で出して、今、回答がないという状態にして、その上で週明けには丸2週間たちますので、次の対応を考えなければいけないかなという状態になっております。そういう状況ですね。

結局、説明説明が進んでないということを考えざるを得ないというですね。そもそも不正があったのか、なかったのかということが第一なのですが、その上で、ガバナンス、それからコンプライアンスについては、それがしっかり説明できるということは、経営上不可欠だと思いますので、その辺を含めて対応をとということになります。

また、保育園の補助制度としては、正確には公定価格というのが国からの委託料を受けてあるんですけども、それは、経営がしっかりしていることを元にして、様々な資金の運用とかができるんだという制度です。もともとは人件費として公定価格があるものなので人件費以外には余っても使えないんです。でも、しっかり経理がされていれば、それで例えば保育園に必要なものを買ったりするのに利用することが認められる制度になっているんですけど、この説明ができないと、そこは揺らいできてしまうということになるので、そういう意味でもしっかりした対応を求めています。

ただ一方で、保育課のほうで現場を回ってもらいました。現場の保育においては、しっかり個別の保育について、また苦情質問みたいなのが殺到して現場のほう回らなくなっているのではないかとかというのも懸念されるわけですが、そういうことはなく、落ち着いた保育がされているというのは確認してございます。そういう意味で、本部の説明を引き続き求めている状況です。

○大島委員長 全部回ったんですか、保育、市内の。

○堤委員長 はい。

○大島委員長 大島です。ご回答ありがとうございます。まず最初のものに関しましては、なかなか難しい状況というところの回答だと思うんですけど、例年からある課題の中で、毎年、長と会ったときもまだ新しい対応策というのは、まだ形にないというところなんですけど、そろそろ二の矢、三の矢を出す時期なのかなとは思っていますが、この辺いかがなんでしょうかね。今やっていることをそのまま進めても解決には至らないと思います。じゃあ、さらなる解決策ということは、どんなことを考えているんでしょうかというのは、一つ目の質問です。

コスモズさんに関しましては、はい、こちら、意見としてのみですが、私たちは公立保育園としてはしっかり苦勞しながらやっているという中で、一方、私立のほうで何か問題、不正があったりということは、これはちょっとそこは、保護者の立場からするとこれは市のほうから言いにくいということだと思いますが、これが続くと、しっかりとちょっとしかるべき制度によってきちんと解明してほしいというのは、意見として挙げさせていただきます。引き続き、お願いいたします。

二つになります。質問は後で。

○中島委員 保育課長です。まず採用については、前回の運営協議会でもご意見をいただいたところかなと思っております。なかなか保育課自体が、職員採用の試験を行ったりとか、採用を決めたりとかという権限がない中で、どうしても私たち子ども家庭部からは、そういう人事権、人事採用の権限のある部署に対して、採用をやっていただきたいという、組織として庁内の別組織にお願いをしていく形しかできないのが実態でございます。

前回も、子ども家庭部長も申し上げましたが、私たちのほうもおっしゃっていただいたとおり、同じことを同じようにやっていたら、同じように採れないというのが続いていますので、何かしら新しい工夫をということで、ちょっと私たちのほうからもアイデアを出すんですけど、そのアイデアを実行していただくのが、どうしても人事部門になってしまうので、引き続き、私たちも要請をしていきたいなと思ってございます。

直近では、職員課のほうと調整しながら、採用試験を考えている方向けの説明会をこの前、けやき保育園とかでイベントを企画したりはしたところなんですけど、なかなかそこについてはお申込みがなくて、用意はしていたんですけども、その試験のほうを受けたいという方向けのそういう説明会のお申込みはなかったりしましたので、そちら

は保育課のほう関わっていて、園の協力も受けながら、組んだ部分にはなるんですけど、やはり人事部門に対して、そういうアイデアというのは、担当としては、引き続き要請をしていくしかないなと思ってございます。

お答えする内容がどうしても少なく、大変申し訳ないんですけども、私たちのほうとしても、何としてでも現場の欠員についてはどうにかしたいというのが気持ちとしてありますので、何とかできないかなというのが本音でございます。

○堤委員長 堤です。今、保育課長からありましたけれども、忙しい中、園のほうでも準備をしていただいて、でも、いい説明会となること期待していたんですけども、やはり応募は得られませんでした。申し訳ございません。そういった取組をした上で、今、保育課長がお話した状況です。そういうことで次の取組をしないといけないと考えております。

○大島委員長 大島です。ありがとうございました。何もしないということではなくて、調整とかはしていただけるというところ、またやれることの限界というところが感じられました。私たちとしても、対市懇談会を予定していますが、市長に対して、市長の観点でできることは何かという話をその場でして、市長からも見解をいただきたいなと思っております。

ちょっと別の件、話になりますが、今日、五園連の中でも出したんですけど、今年度、お泊まり保育、各園ないですねという話を五園連でしてしまっていて、じゃあ来年度、どうなんですかねという話をしていました。コロナが5月に5類になりまして、イベント、ほかの学校とかもイベントが解禁されていく中で、じゃあ来年度の保育園の行事、お泊まり保育だけじゃなくて、行事というのはどうなるのかなという話をしていました。結構、次年度行事を決めるのが、早い段階で、早いうちに決めてしまうので、その辺も加味して、こういう意見交換を早くしておきたいねという話になっておりましたので、次年度の園のイベントとして、行事として、どんな形で今は考えているのか、どういうことを検討しているとかありましたら、おっしゃっていただければと思います。

○中島委員 ちょっと総括的に。保育課長です。次年度の行事については、やはり各園の保育計画に基づいて考えていくんですけど、現時点では次年度行事についてお答えが難しいものとなってございます。お泊まりについては、コロナがあって一旦行事の在り方がお泊まり以外も変わりました。お泊まり保育に限らずですけども、各園の行事については、やはり保育の狙いとか、コロナ禍でも行事を工夫してやったもの、どうしてもできなかったものがございましたので、そういった各園の取組を踏まえて、ようやくここで5類

移行になって以降、今年、行事のほうを幾つかやり方が変わったりしながら再開したところでございます。

その行事で、保育として何を狙いとしてやっていくかというところを各園のほうでしっかり考えた上で、行事の在り方についてはこれから考えていくことになるので、現時点ではお答えはできないですけれども、5園で全く同じにするという形が全てではありませんし、先ほどの園庭の開放のやり方もしかりですけど、5園の保育の状況も違ってきますし、行事自体も各園の特色を出していきながら変わっていくものかなと思ってございますので、こちらについては、繰り返しになりますけど、次年度の行事については、考えている最中ですので、お答えのほうをする段階ではない、お答えができる段階ではないのが実態です。お泊まりを再開するのとかこの行事をこういう形でやりますとかというのをちょっとお答えできるような状況には、5園、次年度についてはそういう状況ではないという形でお答えさせていただきたいと思います。

○大島委員長　大島委員。そういう話ではないんですけど、やれるかやれないかを答えてくださいという趣旨の質問ではなくて、ただ、そういうイベントが今まで2年間、3年間でできなかった状況がありますと。お泊まり保育というのも、今、前の上の子がいるところは、ありますと知っているんですけど、今、入った保護者の方は、そういうのはあるんですかという家庭もありますし、そういうことをじゃあやりたいということも知らないとなかなかできないということもあるんですけど、ただ一方、コロナ禍前に戻すという世の中の動きもある中で、前にやっていた行事は全部できるんじゃないかという考え方もあるところではあるんですね。その中で、これはもしかして園長先生に聞いたほうがいいかもしれないですけど、これはやりますとか、これはやりませんと決めているとかそういう話じゃなくて、こういうことはできるんじゃないかとか、こういう形でイベントは拡大していく、周りの状況とかは前とはまた違う状況だったりして、多分、2年間ぐらい結構工夫して、できるだけやっていたというのは分かるんですけど、そういう状況も変わっていく中で、じゃあ次年度というところで言うと、さっき言ったように、お泊まり保育は1個のキーワードですけど、そういうところはどのような形で今考えていらっしゃるんでしょうかというのをお聞きしていければと思っております。

園長先生のほうから行事に関してこういう形でやっていきます、こういうふうにごさうですとか何かお聞きしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○堤委員長　よろしいですかね。園長先生方に言われているかと思うんですけど、デイキャンプは昨

日やったばかりですが、今年はお泊りしないで1日施設で行いました。

保育課長からも申しあげましたとおり、園のおかれた状況や特徴とかを踏まえて、園ごとの特色を生かしながらやっていこうかと思っています。その上では、次年度の行事とか保育の計画とかというのは、やっぱり年が明ける頃にはある程度決まっていく流れになっていくので、子どものために必要なことは何かを考えていけたらよいかと思います。

○石塚委員　　わかたけ、石塚です。多分、私もこれ、一応保護者としての意見なんですけども、例えば来年年長になるとなってくると、お泊まりはあるのかなとやっぱり思う保護者はいると思いますし、上の子はあったけど下の子はやっぱりなかった。まあコロナ禍で通園していた子たちは致し方ないとしても、あるといいなという思いは、恐らくある方は多いんじゃないかなとは思っています。確かにおっしゃられたとおり、それぞれの園のやり方であったり、その園の環境であったり、いろいろ違うなとは思っていますけど、例えば保護者伝いで、小学校なんかを聞いていると、いわゆる高学年の五、六年生の移動教室とかも大分緩和されてきたという話は聞くんですよ。猛暑日じゃなくてとか。そういう話を聞いてくると、やっぱり保育園もせっかくだったらそういうお泊りみたいな、もちろんデイキャンプもふだんと違う状況ではあるんですけど、せっかくだったらそれがあってもいいかなという保護者は多いと思うので、一意見として聞いていただきたいなとは思っています。

以上です。

○堤委員長　　思いはそれこそ強く、やっぱりその辺も踏まえてというか、その中でできるところ、やるべきことはあるか等について検討を進めていきたいと思っています。

○大島委員長　　何か、そうですね、協議会がそういう場にもなっちゃうのは、ちょっと寂しいなと思っていて、忌憚ない意見をお互い言える場でもあると思っていまして、やれたらいいねと、もう本当それだけでもいいと思うんでね。ただ、これ言っちゃったら、決まっていないのにまだやるとは言えないよね。それはもちろん分かりますけど、もうちょっとライトなところがあってもいいかなというのは、特に行事とかイベントとかそういう楽しいことに関しては、むしろ何かこれは決まっていないので、まだこの話題、いつ決めるんだという話をされても、あ、そうなんだと思うし、もうちょっと未来に向けた楽しい話をぜひしたいなとは思っています。という保護者側の意図は酌み取っていただきたいです。

○堤委員長 ある意味では運協らしい話題ですよ。

○石塚委員 わかたけの石塚です。例えばうち、上が双子なんですけど、上2人はわかたけじゃなくて、別の私立園に行っていたんですけど、わかたけのエリアに越してきて、まだ園庭開放があった、コロナ前ですよ。夏祭りもあった頃に、本当にうちの上の2人はお世話になっていて、通っているのは下のほうなんだけども、ランドセルしょって時々迎えいくと、こうやって名前も覚えてもらったりとか、すごく上の子どもたちはうれしいですよ。子どもながらに、やっぱり夏祭りやったりとかお店に行ったりというの覚えていて。何か感染症が広がってしまって、何か忘れちゃっているよなと大人は思うんですけど、子どもたちだからこそ味わえるような、もちろん他に楽しいこともあればどんどん忘れていっちゃうかもしれないけども、そのときそのときにできることというのが、徐々に戻っていてもいいのかなとは思うんですね。やっぱりそれが地域にある公立の園のよさだと思いますし、私立は園がそれぞれの方針が違うのはもちろんなんですけど、やっぱり公立の地域の園だからこそできることが、やっぱりもっとあってもいいなというのはすごく感じています。

以上です。

○杉山委員 わかたけの杉山です。ちょっとうまく言えないと思うんですけど、園としてこういうことをしたいねということについて、少し思うこともあり、コロナの中でやれなかった、違う形で行っていったことで、新しく見えたというところもあったんですね。子どもたちが子どもだけの世界の中で、すごく集中して遊びこむ姿がすごく見られました。保護者の方がいらっしゃったときに、うれしくて見せるいつもの姿とはまた違う姿があったねというようなことが何園かの行事の振り返りの中でありました。

お泊まり保育もずっとしていたところをデイキャンプという形ならやれるかなということでもやり、見せてくれた姿というのがあったんですね。今、子どもたちの状況もいろいろ変わってきていて、今までだととてもプレッシャーに感じるお子さんも、お友達と一緒に泊まることで乗り越え、乗り越えというか、一つ自信にもなっている姿がある反面、プレッシャーに感じるお子さんも増えてきたとか、いろんなことがあります。

単純にコロナが5類になったから、じゃあお泊まり保育、泊まるかな、泊まらないかなというだけではなくて、さっき課長も言いましたが、一つ一つの取組には、狙いと子どもたちにつけてほしいと思う力を考えながら今年のお子さんたちの様子を見ながら、こういうところの力がつけるといいねというようなことを春の頃から考えながら取り組

んでいるところです。

今は、わかたけでは、来年の状況をどうしようかと考える前に、もう少し立ち返って、わかたけの五つの保育目標があるんですけども、一つ一つの保育目標で、私たちは何を大事にしていこうか。一つの文章だけだと本当に文だけなんですけど、この中にはどういことが含まれているのか、目指す姿はこういうところだよねというのを確認した上で、その後一つ一つの行事についても、毎回狙いを確認して、やり方を考えようかと今やっているところです。なので、今の時点では、泊まる、泊まらないということは、決まっていないということです。

夏祭りに関しては、いずれまたね、おっしゃっていましたが、地域の方との交流の一つの場ではあります。卒園児の子が来てくれて、ちょっと同窓会みたいになっていたり、とてもいい風景だったんですね。だけど、小さいお子さんたちにとっては、夏らしい思い出にもなるけれども、すごい人たちの中で過ぎていくという面もあったのかな、うれしいこともあるし、こういうこともあるしというのをすごく確認しているというのが今のところかなと思っています。

コロナになって、1回立ち止まった、振り返ってみたら、また違う姿が見えたというのは、確かにあるというふうに思っています。

すみません。お答えになっていないような。

○石塚委員

わかたけの石塚です。ありがとうございます、杉山園長。別に夏祭りがあるかないかとか、私もそういうつもりではなかったのですが、誤解があったら申し訳ないです。

それこそ園の考え方であるとか、例えば先生方も入れ替わっていく中で、いろいろアイデア等もあるでしょうし、やっぱり何より、私たちもそうです、働き方改革とかね、いろいろ言われていく中なので、多分先生方も苦心されながら考えていただいているんだろうなとは思っていますので、一意見として結構です。必ずという意味では当然ありませんので、ぜひ、そういう話が聞ければ、ここに来た意味もあるとは思っていますので、やっぱり子どもたちが元気に通ってくれば、まずはいいのかなとは重々承知しております。引き続きよろしく願います。ありがとうございます。

○大島委員長

大事なお話だと思ひまして、何のための行事、イベントということを考えるのも大事だし、保護者の楽しみという観点、保護者だけじゃなくて卒園した人たちが楽しめる、それから地域交流という話もありますし、それを勘案した中で、どういうイベントをやっていくかを考えていくことは、今やっというらっしゃるということで、それはそうだな

と、思っています。

この話が聞けて良かったですし、ほかの保護者にも共有して、5園ではこういう考えでイベントをやっていますとかも、またはその都度、保護者会とかで話されているとは思いますが、なかなか浸透していくのは難しいと思いますが、私たちもうまくそういう形で連携できればとは思っております。

○堤委員長 ご質問は以上ですか。

それでは、以上で今日の日程を終了としたいと思います。日程について、ご相談させていただいたとおり、次回は五園連にあわせて9月9日ということで、またご連絡させていただきます。

本日はお疲れさまでした。ありがとうございました。

閉 会